

令和 2年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	木原奉文
		全体計画						経費区分		-		内線	3416
事務事業名	4172 間伐対策事業												
所 属	150100 産業振興部・農林課												
施 策	05012200 森林の多面的機能の維持保全と共生												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	060301 農林水産業費・林業費・林業振興費											
	事業	040000 間伐対策事業											
事業目的						事業概要・効果							
森林の持つ多面的な機能を持続的に発揮させるため、 除間伐を適正に行い、健全な森林を造成する。 また、森林の施業の欠かせない、現況調査、作業道整備 の行為に交付金を交付し、森林所有者を支援する。						除間伐を適正に行い、健全な森林を造成する。また、 森林の施業に欠かせない、現況調査、作業道整備の行 為に交付金を交付し、森林所有者を支援することによ り、水源の涵養、山地災害の防止が図れる。							

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
間伐対策事業補助金 50.77ha 森林整備地域活動支援交付金（施業集約化）30ha	間伐対策事業補助金 70ha 森林整備地域活動支援交付金（施業集約化）50ha
平成29年度 実績	平成30年度 実績
間伐対策事業補助金 37ha 森林整備地域活動支援交付金（森林経営計画作成促進）12ha	間伐対策事業補助金 70ha 森林整備地域活動支援交付金（森林経営計画作成促進）15ha
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
間伐対策事業補助金 81.50ha	間伐対策事業補助金 57ha

指標名	間伐整備の実施面積				
算式	累計実施面積				単位 ha
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標				1,200
	実績				
指標選定の理由	計画的に間伐を実施し、森林の持つ公益的機能を維持する。				
最終年度目標の根拠	67ha、累計913ha（H26）の間伐だが、年間平均50haとし、最終目標1200haとした。				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和2年度 予 算
事業費		2,512	2,057
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		2,512	2,057
人員数(人)	正規職員	0.1	0.3
	嘱託職員	0.2	0.0
	臨時職員	0.1	0.1
人員コスト	正規職員	726.5	2,179.5
	嘱託職員	565.8	0.0
	臨時職員	129.8	129.8
	計	1,422.1	2,309.3
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		3,934.1	4,366.3

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	12	消耗品（事務用品）12
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2,500	間伐対策事業補助金2,500
その他	0	

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	57	消耗品57
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	2,000	間伐対策事業補助金2,000
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	森林の間伐事業を補助することで、森林の健全育成を図ることができた。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	間伐を行うことにより、森林の持つ公益的機能の確保と維持保全を図ることができた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	間伐事業が推進するよう、国県の補助額に市単独予算で10%嵩上げ補助を行っている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

森林経営計画により施業の集約化をし、間伐を推進しており、今後も森林整備を進めていくためにも必要不可欠な補助事業である。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

森林の効率的な保全整備は、防災や水資源の涵養、良質な木材の育成に必要不可欠

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

災害防止や水資源涵養のため、健全な森林の育成は不可欠である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--